

十三年三月十九日

開拓大書記官時任為基伊國勲章佩用願ヲ許ス

賞勲局伺

開拓大書記官時任為基伊國コロンナデイタリヤ五
等勲章佩用ノ儀御允許相成可然哉仰允裁候也
十三年三月

五月十日
局

開拓使中臈 賞勲局宛

函館支廳在勤開拓大書記官時任為基俄客歲伊國皇
族函館へ来港ノ節親授相成候同國勲章佩用願書差
越候ニ付勲章及外務卿副書トモ取纏ノ及御送付候
條可然御取計有之度此致申進候也
十三年三月八日

時任開拓大書記官願 賞勲局宛

為基俄先般伊太里亞國皇帝陛下於テ特殊ノ恩惠ヲ

表セラレンカ為同國ナイト、ヲフ、デ、タルドル、ヲフ、ク
ラウン、ヲフ、イタリ、十字形賞牌下賜相成則同國皇
族熱納重殿下ヨリ於函館受領仕候仍ラ右佩用ノ儀
御允可被成下度賞牌相添此段願上候也
十三
年二
月廿
一日

同人上申
宛所又

為基俄伊太里亞國皇帝陛下ヨリ同國ナイト、ヲフ、デ、
タルドル、ヲフ、クラウン、イタリ、十字形賞牌下賜相
成同國皇族熱納重殿下ヨリ於函館受領仕候共賞狀
ハ迄ラ本國ヨリ左越候旨ニテ未タ受領仕ラス仍ラ
此段申上候也
十三
年二
月廿
一日

外務省副狀

開拓大書記官時任為基、伊國皇帝陛下ヨリ同國ナ
イト、ヲフ、タルドル、ヲフ、クラウン、ヲフ、イタリ、
十字形賞牌下賜相成則同國皇族熱納重殿下ヨリ於函館受領仕候仍ラ右佩用ノ儀
御允可被成下度賞牌相添此段願上候也
十三
年二
月廿
一日

ヲ被賜與候儀相違無之候事
十三
年三
月四
日